

開館30周年記念

みんなく ウィークエンド・サロン 研究者と話そう

今月も多彩な研究者が展示場でお話します。展示をめぐるアレコレや、ここでだけ話す民博の研究について、じっくり聞いてみませんか。



東南アジア展示
トラジャの穀倉の
屋根葺き替え作業
(1996年)

■時間：14:30～15:30(予定)★9月16日のみ、15:30～16:30

■参加費：無料(ただし、観覧券が必要)

* 毎週土曜日は、小学生・中学生・高校生は無料で観覧できます。
ただし、自然文化園を通行して来館される場合は、自然文化園の入園料が必要です。

実施日・話者・話題・場所

9月8日(土)

佐藤 浩司 (文化資源研究センター准教授)
東南アジアの自然と屋根づくり
於：東南アジア展示

9月9日(日)

庄司 博史 (民族社会研究部教授)
世界のことば ことばの世界
於：言語展示

9月16日(日)★時間 15:30～16:30

林 勲男 (民族社会研究部准教授)
オセアニア展示を読み解く
於：オセアニア展示

9月24日(月・振替休日)

飯田 卓 (研究戦略センター助教)
貝の民族学
於：オセアニア展示、アフリカ展示、中央・北アジア展示

9月30日(日)

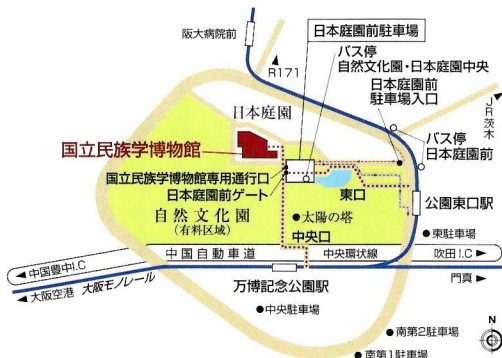
塚田 誠之 (先端人類科学研究部教授)
中国・チワン族の中秋節
於：展示場内休憩所

※ 詳細は、ホームページをご覧ください。

編集後記

ハワイやグアムやタヒチなどは、リゾート地として日本人にはなじみの深い南の島の島々であろう。しかし、それらの島々がオセアニアの一部であるといわれると、わたしたちはとまどうかもしれない。9月13日から始まる民博・特別展「オセアニア大航海展」では、それらリゾート地にも独自の歴史や文化があることで、あらたなまなざしを向けることになるであろう。同時に、日本でいえば縄文時代にオセアニアの海をカヌーで移動した人類に思いを寄せ、その後、各地で形成された文化の変わりゆく姿を知ることができる。

特集の冒頭の地図を見ながら、日本の島々は、オセアニア地域に連続して位置づいているのに、どうしてオセアニアには含まれないのだろうか、海の世界には境界というものが存在していたのであろうかと考える。今月号の特集「オセアニア」は、特別展に先がけて、それらの答えとこの地域のもつ魅力を存分に教えてくれるにちがいない。(池谷和信)



交通案内

■大阪・千里万博記念公園内

●大阪モノレールで「公園東口駅」・「万博記念公園駅」下車徒歩約15分。

●阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車徒歩約15分(茨木方面から1時間1本程度、日本庭園前駐車場乗り入れのバスがあります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください)。

●自家用車の場合は、万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。

●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。



次号予告/10月号特集
トイレ

2007年9月号

第31巻第9号通巻第360号
2007年9月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話06-6876-2151

発行人 朝倉敬夫

編集委員 池谷和信(編集長) 榎永真佐夫
久保正敏 庄司博史 山中由里子

協力 財団法人 千里文化財団

制作 株式会社博報堂

製版・印刷 アサヒ精版印刷株式会社

写真提供・協力 7頁中 伊東道子 11頁中 飯田卓

●本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係へ
●本誌掲載記事の無断転載を禁じます